

スタッフ便り

生活スタイルの変化に伴い、ここ数年自分の趣味も多様化の一途をたどっています。これまでも好きだった自動車に加え、ジョギングやトレッキング、自転車など、子ども達と一緒にできるアウトドア系が増えてきました。昨年からは、自転車にどっぷりはまり、自分の手で部品から組み上げたロードバイクで山を登ります。汗もびしょり、息も苦しく、限界も限界でもう止めたくないので、登頂した時のアドレナリンたっぷりの達成感に魅せられてしまいました。運動不足解消の効果もあり健康に良さそうなので、日々のジョギングで鍛えつつ、苦行のサイクリングを楽しんでいます(笑)。

最近熱が入っているのは洗車です。朝日が昇るとともに始めて朝食前に終わるような日頃のメンテナンス的な洗車から、数日掛けてじっくり取り組む本格的なディティリングまで、クルマが綺麗になるのを楽しんでいます。テロンテロンに輝くクルマを眺めながら、洗車前と後でクルマ周りの空気の流れの違いがあるのか気になってしまうのは、高性能計算に関連する仕事のおかげだと思っています(笑)。(K. K)

去る8月28日、小学1年生と年中の娘のピアノの発表会が予定されていましたが、コロナ禍で開催が見送られたため、娘たちにとって初めての発表会。2か月前に演奏曲が決まり、練習の毎日が始まりました。うまく弾くことができず、泣いたり、痙攣を起したり、ピアノをやめると言ったり…、うまくなだめて練習させるのに一苦労です。それでも、コツコツ頑張った甲斐あって、なんとか形になってきたところ、前日の8月27日から緊急事態宣言期間に入り、会場施設が閉鎖され、発表会はあえなく中止となりました。娘たちもがっかりしていましたが、ここまで練習に付き合い、当日のドレスを用意した親としても、とても残念です。ですが、一つのことを一生懸命頑張った毎日は、娘たちを成長させてくれたかな、と前向きに考えることにします。

来年こそは、発表会が無事に開催されますように。(A. S)



SENAC 編集部会

滝沢寛之 水木敬明 後藤英昭 伊藤昭彦
早坂和勝 大泉健治 小野 敏 斉藤くみ子

令和3年10月発行
編集・発行 東北大学
サイバーサイエンスセンター
仙台市青葉区荒巻字青葉6-3
郵便番号 980-8578
PDF 作成 株式会社 東誠社